



# 次代のものづくりを支え続けて76年 最前線の人と技術を湖北で育む

## 湖北精工株式会社

代表取締役社長

おがわ たかし  
**小川 孝史** さん

### 手堅い発注先としての信頼感が強み

#### — 事業内容を教えてください

ものづくり企業の生産設備となる機械をつくっています。6〜7割が一般産業用機械や省力化機械、3〜4割が自社開発したカップ印刷機やボトルキャップ印刷機などです。その内の5〜7割の機械が輸出されています。

#### — 御社の強みは何でしょうか？

お客様から、安心して任せられる手堅い発注先として評価をいただいているということだと思います。

現在日本では、自動化できそうな工程はほとんど機械化されているので、残っている工程を自動化するのは自ずと難しくなります。

また、完成させるまでに最低半年ほどかかるうえ、価格も安いものではあ

りません。お客様にとっても、相応の時間と費用を投資するわけなので、リスクの少ない発注先を選ぶ必要があります。

当社はさまざまな要素技術と総合力で、そうしたご期待に添えるよう、1件1件丁寧に取り組んできました。その積み重ねが、「湖北精工ならなんとかしてくれる」という信頼につながっていると感じます。

### 難しくてもチャレンジが必要

#### — 特に難しいのはどんなケースですか？

初めての分野、初めての機械……と「初めて」がつく案件です。やってみないとわからないことの連続ですが、だからといって、高く見積もることもできません。常識の範囲で見積もって受注するわけですが、赤字になることも少なくありません。

それでも、しっかりした製品を納め、それによってお客様の製品が売れるようになると、また注文がもらえます。最初はチャレンジと思って受けた仕事が、継続的に受注することで新しい受注の柱になるという場合がほとんどです。

実際、ITバブルがはじけた2002年に、大赤字を覚悟で受注した仕事が、数年後に稼ぎ頭に育ちました。

#### — チャレンジが必要なのですね

後から参入しても価格競争になるだけなので、将来伸びそうな市場に早くからアプローチして先行しておかないと生き残れません。予測は難しいですが、設備投資が拡大していきそうな産業を見極めることが大切です。

次に来る波は何か。データだけでなく、生の情報をキャッチするよう心がけています。産業支援プラザさんには、以前から貿易に関する相談や危機対応の専門家派遣でお世話になっていますが、平成26年度から県内40社の会員で組織する「滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会」\*の会長を引き受けております。

人材育成や事業承継などのテーマで勉強会やセミナー、見学会などの活動を通じて情報交換を活発に行っています。

### 自ら課題を設定してさらなる高みへ

#### — 次の一手は何でしょうか？

人の育成に、さらに力を入れていきます。自社開発の印刷機は、これまで、お客様の要望をもとに改良することに力を入れてきた反面、自ら課題を設定して試行錯誤するという意欲がやや薄れていました。そのため、新たな技術

ものづくり企業になくはない生産設備をつくる湖北精工。高い総合力と柔軟な対応力で積み重ねてきた実績が、顧客の信頼につながっている。「湖北」を社名に掲げるのは、この地に根をおろし、人と技術を磨き続ける覚悟の表れだ。創業からの教えである「人は人として使え」を心に刻み、機械をつくる「人」とともに技術を育ててきた。そして今、小川社長の「経験を積ませれば人は必ず成長する」という信念のもと、若い人に積極的に機会を与え、新たなテーマへのチャレンジを始めている。



自社開発のカップ印刷機  
かつては海外製で占められていたが、  
現在は国内市場の9割以上が同社製だ

テーマに挑む場として「開発会議」を立ち上げました。

現在、印刷機の動作音を低減化する研究を大学と共同で行っています。

こうした取り組みで、設計力やものづくり力をより高いステージに引き上げていきたいと考えています。



産学連携でカップ印刷機の動作音を低減化する研究に取り組んでいる

#### — 今後の目標は？

重要なお得意様である自動車業界は、大きな転換期を迎えています。EV

(電気自動車)、FCV(燃料電池車)、HV(ハイブリッド車)など、どれが主流になるのか、専門家でも予測は難しいと言われますが、どこに向かうと「電動化」が進むのは確かで、それを見越した対応が必要です。

いつどこがイノベーティブな製品を開発するにしても「どこに依頼するか」という時に、真っ先に思い出してもらえよう、準備万端の体制を整えていたい。

そのためにも、設備の充実と人の育成にさらに取り組みます。創業のこの地は、じっくり人を育てるのに適しています。人と技術を磨き続け、お客様と同じ夢を見られる、業界のトップメーカーを目指していきます。

## Data



## 湖北精工株式会社

- ▶ 代表者 / 代表取締役 小川 孝史
- ▶ 従業員数 / 164名
- ▶ 住所 / 本社工場 滋賀県長浜市東上坂町351番地2  
小沢工場 滋賀県長浜市小沢町225番地
- ▶ 創業 / 1942年

- ▶ 業務内容 / 一般産業用省力機械  
プラスチック容器印刷機、化学産業用機械  
包装機の製造、販売
- ▶ TEL / 0749-63-5212
- ▶ URL / <http://www.kohokuseiko.co.jp/>

※ 滋賀県中小企業経営基盤・技術向上等研究会  
産業支援プラザが事務局となり、経営課題の解決および人材育成を図ることを目的として、主に県内の中小製造業の若手経営者を対象とする研究会を開催しています。会員相互の技術向上や自立化の啓発を通じ、ネットワーク形成に結びつけることによって、会員の経営基盤の向上を目指します。

問い合わせ先  
(公財) 滋賀県産業支援プラザ  
経営支援部 販路開拓課  
担当/船越  
☎ 077-511-1413  
☎ 077-511-1418  
✉ hanro@shigaplaza.or.jp